

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

目次

01: イベント情報
02: プレス情報
03: 公募情報
04: 特許出願情報

01: イベント情報

【出展予定イベント】

★アグリビジネス創出フェア 2015

アグリビジネス創出フェア 2015 は、全国の産学の機関が有する、農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで分かりやすく紹介し、研究機関間や研究機関と事業者との連携を促す場として開催する「技術・交流展示会」です。

◇日時：11月18（水）～20（金）10:00～17:00

◇場所：東京ビッグサイト東6ホール（東京都江東区有明3-10-1）

◇出展内容：今回の出展では、山梨大学生命環境学部の研究成果に焦点を当てて、成果の一つである「ワイン」を中心に情報発信します。

詳細はこちら→ <http://agribiz-fair.jp/>

★山梨テクノICTメッセ 2015

◇日時：11月19日（木）～21日（土）10：00～17：00

◇場所：アイメッセ山梨 展示ホール

詳細はこちら→ <http://yamanashi-technoict.jp/>



■02: プレス情報

◆本学卒業生 大村智先生 ノーベル医学生理学賞受賞!

本学学芸学部（現在の教育人間科学部）卒業生である大村 智（おおむら さとし）先生が、長年にわたる卓越したご研究の成果によりノーベル医学生理学賞を受賞されました。

今日の受賞は、イベルメクチンの発見・開発とそれによる不治の病と言われるオンコセルカ症の治療の成功によるものと思われます。

10億人もの人々を失明の危機から救ったことが大きく評価されたものと思われます。

山梨大学教職員・学生一同、大変誇りに感じておりますとともに、学生や若い

研究者にとって大いに励みになるものと考えます。

先生が今後もご健勝で益々ご活躍されることを心から祈念しております。

学長 島田眞路

◆工学部土木環境工学科の相馬一義准教授らのグループが
河川整備基金助成事業優秀成果賞を受賞!

工学部土木環境工学科の相馬一義准教授を代表とし、野依亮介氏（平成 26 年度山梨大学修士課程・国際流域環境科学特別教育プログラム修了）を研究協力者とするグループが、平成 27 年度河川整備基金助成事業優秀成果賞を受賞しました。

受賞テーマは「京阪神における局地的大雨予測への詳細な都市環境情報導入とその影響評価」です。これは、統計データと GIS データを駆使して詳細かつ広域の都市環境情報を推定する手法を提案し、数値気象モデルへ導入しゲリラ豪雨の予測精度向上を目指したものです。

相馬准教授は「本事業は野依さんの修士論文研究を通じて共同で遂行したもので、この度は大変名誉ある賞をいただき光栄に思います。国際流域環境研究センター水工グループ、先端領域若手研究リーダー育成拠点の皆様には多くのご協力・ご助言をいただきました。この場を借りて深く御礼申し上げます。」と述べています。

◆工学部応用化学科の植田郁生助教が
2015 年度 日本分析化学会奨励賞を受賞!

工学部応用化学科の植田郁生助教が 2015 年度 日本分析化学会奨励賞を受賞し、九州大学伊都キャンパス（福岡県福岡市）で開催された日本分析化学会第 64 年会において、授与式及び受賞講演が行われました。

この賞は、日本分析化学会（会員数約 6,000 名）の正会員で、分析化学に関する

る研究が独創的であり、将来を期待される研究者で 35 歳以下の者に贈呈される賞です。

受賞テーマは「針型濃縮デバイスを用いる揮発性有機化合物の分析」です。

受賞した植田助教は「空気中あるいは水中の微量の揮発性有機化合物をガスクロマトグラフで分析するための、針型の濃縮デバイスを開発し、種々の分析に応用しました。この分析法では、高価な装置や有機溶媒を使用することなく、簡便・迅速かつ高感度に環境中の揮発性有機化合物が分析できます。」と述べています。



■03: 公募情報

公募に関する応募等のご相談がございましたら、ぜひご連絡ください！！

◆ 公益財団法人 三菱UFJ 技術育成財団

技術指向型の中小企業の新技術、新製品等の研究開発に対する
助成金の交付事業

公益財団法人三菱UFJ 技術育成財団では9月1日より、「平成27年度
第2回研究開発助成金交付事業」を別紙の要領にて開始致します。

【対象企業】

原則として設立または創業後もしくは新規事業進出後5年以内の中小企業
または個人事業者。

【助成金の使途】

研究開発のために必要な調査研究費、設計費、試験費、試作費等

【助成金額】

助成金額として次のいずれか少ない方の金額。(返還の義務はありません)

- ・ 1プロジェクトにつき 300 万円以内。
- ・ 研究開発対象費用の 2 分の 1 以下。

【募集期間】平成 27 年 9 月 1 日～平成 27 年 10 月 31 日

【詳細】<http://www.mutech.or.jp/>

◆公益財団法人 新技術開発財団は以下要領で

第 9 6 回（平成 2 7 年度 第 2 次）新技術開発助成を実施します！

【助成の目的とねらい】

新技術開発財団は、広く科学技術に関する独創的な研究や新技術を開発し、これを実用化することによって我が国の産業・科学技術の新分野等を醸成開拓し、国民生活の向上に寄与することを目的としています。

当財団の助成は「独創的な新技術の実用化」をねらいとしており、基本原理の確認が終了（研究段階終了）した後の実用化を目的にした開発試作を対象にしています。

【助成金】

- (1) 助成金の対象となるのは、本開発試作に直接必要な費用（ただし、社内人件費は原則助成対象外です。詳細は記入要領参照。）で、助成期間中に発注し、当期間中に支払いが終了するものに限ります。
- (2) 試作費合計額の 2 / 3 以下で 2,0 0 0 万円を限度として助成します。
- (3) 本助成は融資ではありません。助成金は助成開始時に行う助成金贈呈式で贈呈いたします。
- (4) 助成金の受取り・管理の為の専用口座を開設していただきます。
※中間報告および完了報告で経費実績を報告していただきます。
※契約通り実施されなかった場合は助成金の返還を求めることがあります。

【応募受付期間】平成 27 年 10 月 1 日（木）～10 月 20 日（火）（締切日消印有効）

【申し込み／お問い合わせ】 公益財団法人 新技術開発財団

〒143-0021 東京都大田区北馬込 1-26-10

電話(03)3775-2021 FAX(03)3775-2020

【詳細】 <http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html>

◆ 公益財団法人 やまなし産業支援機構 ～山梨みらいファンド事業～
創業・経営の革新を支援する助成事業のご案内！

山梨県内で創業しようとする方や、創業間もない中小企業者、新事業の創出や経営革新に積極的に取り組む中小企業者に対し、「山梨みらいファンド基金」の運用益により助成金の交付などの支援を行います。

開業時の初期投資や、地域資源を活用した新商品の研究開発、及び販路開拓等、皆様の事業活動にお役立てください。

【募集期間】 平成 27 年 9 月 4 日（金）～10 月 30（金）まで

【お問い合わせ】 新産業創造部 新事業創造課 TEL: 055-243-1888

【詳細】 <https://www.yiso.or.jp/subsidy/fund.html>



■04: 特許出願情報

～山梨大学が出願した最新特許情報をご紹介します～

注) 特許出願情報についてはクラブ会員のみへの提供となっておりますので、本掲載では非公開とさせていただきます。



▼ 連絡先

国立大学法人山梨大学

社会連携・研究支援機構

社会連携・知財管理センター

TEL:055-220-8759

FAX:055-220-8757

renkei-as@yamanashi.ac.jp



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。